

## 1. 幼稚園（すみれ台幼稚園）の教育目標

・ じょうぶな体	明るく、すこやかな心身を育む
・ やさしい心	友だちとの協調性を育む
・ がんばる力	意欲と豊かな想像性を育む
・ 興味をもつこと	いろいろなことに興味や関心をもつ子どもになる

## 2. 令和5年度 事業計画の重点目標

1 少人数幼稚園での保育や姉妹園・地域との関わりを増やす
2 保護者と連携して子どもについて共有を行う

## 3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

(A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、十分ではない D:取り組みが不十分)

	評価項目	自己評価	内容等
1	保育の計画性 重点目標	A	今年度も2学年での園生活となったが、年長と年少であったため、年長が年少を無理なくリードできるような行事内容や活動を考え、実践できた。年長が自覚をもついい機会となり、年少も年長に憧れ、親しみをもって生活できた。
2	保育の在り方 幼児への対応	A	少人数ということもあり、一人ひとり丁寧に対応でき、園児とのかかわりも深くもてた。すべての職員がどの園児もみることができた。
3	保育者としての 資質や能力	A	全職員が、保育経験が多く、園施設にも慣れた職員であるため、より良い保育ができた。また職員間での園児の共有がしっかりでき、どの職員でも対応できる体制ができた。
4	保護者への対応	A	職員がかかわらないことで、保護者も安心しているように感じた。園からの声掛けやアプリでの連絡を密に行った。保護者からの問い合わせや相談は迅速に対応することで寄り添い、悩みや疑問に答えることができた。
5	地域の自然や 社会とのかかわり	B	学区の中学生が来園しての職場体験では、普段接しない年代とのふれあいや交流をすることができた。来年度は老人施設などの地域との交流機会を増やしていきたい。
6	自己研修など	A	オンライン研修が増え、職員個々の時間で研修を受講することができた。また研修内容を職員間で共有したり、伝達することで知識も広がった。教育や保育にかかわらず、興味のある分野について調べることで自己研鑽につながった。

#### 4. 重点課題等の総合的な評価結果

- ・ 1年を通して計画的な保育ができた。また姉妹園との合同行事やハイクなど関りが増えた。
- ・ 子どもの共有について、保育公開日を追加したり、面談できる環境を整えた。情報が一方的にならないようにすることが、大切であると感じた。

#### 5. 今後取り組む課題等

保育計画や関わりについて

- ・ 2学年での主体性や縦割り保育の実施

情報の共有と伝え方

- ・ 情報をきちんと伝え、共有できるように機会を増やし、共有する

安全面(防犯)の強化

- ・ 子どもが安心して過ごせるよう、自動施錠など安全面を強化する